

こうはんせい ～広汎性発達障がいを正しく理解するために～

はじめに

友人どうしで話し合っている最中に、浮いてしまったことはありませんか？太った人に対して何の悪気もなく「太っているね」と言ってしまったことはありませんか？テレビに見入ってしまい、「ねえ、〇〇君！」と呼ばれてもまったく気づかず、相手に誤解を与えてしましたことはありませんか？ちょっとした物音で異常に驚いてしまったことはありませんか？運動会のピストル音が恐ろしくてかんしゃくを起してしまったことはありませんか？注射される時に異様な恐怖を感じたりしませんか？これらの出来事は「広汎性発達障がい」の代表的症状ですが、身に覚えが多い方は本疾患の可能性が高いといえます。

「弱気じやだめ、しっかりしなさい！」とか「何をボーッとしてる？気持ちを集中させなさい！」とか、以前は本人のだらしなさで片付けられていたことが、近年、脳の機能異常に基づく症状と考えられるようになり、日常の暮らししがしづらくなる疾患群「広汎性発達障がい」として捉えられるようになりました。ここではこの障がいの特徴を分かりやすく説明してみます。

広汎性発達障がいとは、自閉症の研究と共に明らかになってきた障がいの概念です。冒頭のいくつかの症状のように、人とのコミュニケーションを取りにくなどの特徴があり、暮らしや人づき合いがしづらくなります。男性に多く、有病率は0.5～0.7%といわれています。その人が、その人らしく生き生きと暮らせるように、周りの人々がこの障がいを正しく理解し、サポートすることが何よりも大切です。

広汎性発達障がいの特徴

①社会性の特徴：他の人と互いにやりとりすることが苦手で、つきあい方のルールや社会の常識がわからにくいため、状況にかかわらずマイペースを維持し、その場の雰囲気を感じ取りにくい、相手の気持ちがわかりにくく、親しい友人が作れず誤解されやすい、社会常識が身につきにくいなどの特徴があります。

②コミュニケーションの特徴：言葉のやりとりだけでなく、身ぶりや視線など、言葉以外のやりとりもうまくできず、コミュニケーションが苦手です。伝えるべきことを要約しつらいため話が長くなり、しゃべりに抑揚がなく、また逆に相手の話の要点がつかめず、言われたまま受け止めてしまつたために冗談を理解しにくい傾向があります。「あれ」や「ちょっと」などあいまいな言葉の意味が分かりづらく、表情やジェスチャーを理解しにくいなどの特徴があります。

③想像力の特徴（興味のかたより）：想像力とは「こうかな、ああかな」と推測する力ですが、この想像力がうまく働きにくいため、気持ちの切り替えや融通が利かないようです。「いつもどおり」が安心なため、初めての場所や、日課や予定の変更を嫌います。また興味にかたよりがあり、不自然なほど同じ行動を反復したり、極端なコレクションをすることがあります。好きなものへのこだわりの反面、周囲に無関心であるとか、応用がきにくい面を持っています。いつもどおりだと安心して行動でき、マニュアル化するなど、自分なりのルールを持っています。初めての場面では緊張し、慣れるまでに時間を要するため、突然のトラブルや変化に対して素早く対応することが苦手です。

④その他の特徴

以上の3つが主要な特徴ですが、その他にも以下の特徴をあげておきます。

(1)からだの感覚：五感に代表されるような感覚のうち、ある感覚に敏感であったり、他の感覚に鈍感たりするようなバラツキを持つ人がいます。

(2)動作や手足の使い方：動きがぎこちなかつたり、手足が不器用な人がいます。

(3)行動と注意・集中力：じっとしているのが苦手で、衝動を抑えることが難しかつたり、注意力に問題がある人や、集中力に欠け持続が困難な人もいます。

(4)得意なこと苦手なことのかたよりが大きい人。

(5)その他：睡眠の問題がある人、体温調節が苦手な人、心や体の調子を自覚しにくい人もいます。

広汎性発達障がいのQ&A

Q1. 広汎性発達障がいと知的障がいとはちがうの？

A. ちがいます。しかし広汎性発達障がいのある人のうち半分くらいは知的障がいを伴っていると言われています。知的障がいを伴わない広汎性発達障がいのある人（高機能広汎性発達障がい）は、アスペルガー症候群や高機能自閉症と呼ばれることがあります。

Q2. 広汎性発達障がいかどうかの診断を受けるにはどうしたら良いのでしょうか？

A. 広汎性発達障がいの診断は、幼い頃からの特徴や成長・発達の情報を参考に医療機関で慎重に行われます。必要に応じて血液検査・CTスキャン検査・脳波検査・知能テスト・発達テストを行い、診断の参考にします。広汎性発達障がいかなと思ったら医療機関を受診する前に、まず以下の相談機関に相談されると良いでしょう。

※吹田市在住の方及び大阪市、堺市以外に在住の方へのご案内です

吹田市こども支援交流センター	☎06-6339-6103
吹田市保健センター（就学前児童の方）	☎06-6339-1212
大阪府吹田子ども家庭センター	☎06-6389-3526
大阪府発達障がい者支援センターアクト大阪	http://homepage3.nifty.com/actosaka/
大阪府こころの健康総合センター	http://kokoro-osaka.jp/
大阪府障がい者自立相談支援センター 知的障がい者支援課（18歳以上の知的障がいを伴う方）	☎06-6692-5263

Q3. 広汎性発達障がいを治す薬や治療法は？

A. 広汎性発達障がいそのものを治す薬や治療法はありません。2次的に起こるこころの不調などに対して、症状に応じた薬が処方されることがあります。症状が改善することで生活がしやすくなったり、問題となる行動が軽減し、周りの人との関係をうまく保つことができるようになります。また治療法はありませんが、個々の症状に応じて日々の暮らし方を工夫することで過ごし易くすることができます。そのためには、周りの方々の理解と適切な配慮が欠かせません。

とても大切なこと

自尊感情とは「私は私でいいんだ」「自分は大切な存在だ」という感情です。この感情を育むことは広汎性発達障がいの人にも、またそうでない人にとっても、とても大切なことです。自尊感情は相手を大切にすることにつながります。

可能性を見つめて

以下は一部研究者の考えに、著者の私見を加えたものです。

ここで図を示します。右の図は左円が一般の人の特性、右円が広汎性発達障がいの方の特性です。①左円と右円が重なる部分は通常の人と広汎性発達障がいの人とのあいだで、日常生活で通常に了解できる部分です。②左円のうち右円と重ならない部分は一般の人にはそなわっていませんが、広汎性発達障がいの方にはそなわっていない部分を示し、③右円のうち左円と重ならない部分は広汎性発達障がいの方にのみそなわっている資質の部分です。広汎性発達障がいの方が日常生活を送る上で暮らしや人づき合いのしづらさを感じるのは②がそなわっていないためと③が存在するためとされています。

そしてこの③のごくわずかな領域に、一般の人では気づくことのない、それまで未知であった真理や法則の発見につながる領域が存在するという考えがあります。言い換えれば、世の中の多数の偉人たちが、この部分を働きかせて、真理や法則を発見してきたといえます。現状では、この部分を通常の教育で活性化させることは困難で、偉人たちの発見は、日常生活での偶然の出会いや発想でしかなかったようです。特殊な才能を発揮することで得られた新たな発見を求めて、イギリスでは才能発掘の試みを始めています。広汎性発達障がいの方々への「工夫をこらした教育」は、子供の頃から大人に至るまで長期にわたりますが、試みが始められてまだ日が浅いため、イギリスで結果が出るのはまだ先のことのようです。この取り組みは、医療関係者や福祉支援関係者だけでなく、教育関係者も取り組むべき問題といえます。これらの試みが盛んになり、『可能性をみつめる』人が多くなることを期待しています。

最後になりましたが、「ええやん ちがっても 青年・成人版 ～広汎性発達障がいの理解のために～」(監修 大阪府こころの健康総合センター)を許可引用させていただいた事に關し、関係者の方々に深く感謝の意を表します。

PS)広汎性発達障がいの同義語として以下の単語も使用されます。

自閉症スペクトラム・自閉症・自閉性障がい・自閉傾向・非定型自閉症・アスペルガー症候群（障がい）・特定不能の広汎性発達障がい

【参考および引用文献】

ええやん ちがっても 青年・成人版 ～広汎性発達障がいの理解のために～
監修:大阪府こころの健康総合センター <http://kokoro-osaka.jp/>